

お知らせ

－委員会報告：自家調製した放射性医薬品の調製記録例の提案－

会員各位

放射線管理・防護に関する調査検討委員会

委員長 木田哲生

平素より、本学会の運営に対し、御理解とご協力を賜り有難うございます。

現在まで、核医学診療の現場において核医学技術者は放射性医薬品の安全使用に重要な役割を果たしてきています。また、現在、今まで以上に適正取り扱いについて真摯に取り組んでおられることと存じます。このような状況下、平成 23 年 6 月関連 4 団体で作成した放射性医薬品取り扱いガイドラインが改訂され公開されることとなりました。放射性医薬品の調製時にお手元に置き、注意すべき事項や手順についてご確認、ご参考にご利用ください。併せて、ガイドラインの内容についての質問集と調製の手順書および調製記録の例（テクネチウム調製キット別調製記録案）も公開されました。テクネチウム調製キット別調製記録案については、当委員会報告「自家調製した放射性医薬品の調製記録の提案」のフルバージョンが「核医学技術」vol.32.No.4 に掲載されていますので目的・利用方法をご確認いただきたく存じます。

これらの公開情報を有効に活用いただき調製担当者としてさらなる安全を高めてくださるようお願いいたします。